

2018 年のタイのビジネス環境の現状

2017 年 10 月 31 日に世界銀行が発表した報告書「ビジネス環境の現状」の 2018 年版で、タイは 190 カ国・地域中 46 位から 26 位に躍進した。ランキングでは第 20 位の大幅な上昇となりました。昨年と比較して事業の容易さにおいて世界で 2 番目に改善され、全体のスコアは 77.44 点で、前年から 5.68 点増加した。タイは ASEAN の第 3 位、シンガポールは第 2 位(84.57 点)、マレーシアは第 24 位(78.43 点)、となっている。

タイの成功は、手続きの簡素化や政府サービスのデジタル化や規制の枠組みの改善など、多くの実践的措置を実施したことによって、より良い競争力のためのビジネス環境の改善を達成した。タイ政府は以下の 6 つの重要な分野でより良い競争力を大幅に改善しました。(1)「**事業設立**」このランキングは前回のレポートの第 78 位(87.01 点)から第 36 位(92.34 点)に向上しました。その起因は、電子システムの導入によって、ビジネスの開始に要する時間は 25.5 日から 4.5 日に短縮することができます。政府はまた、株券に関する会社印鑑と、労働福祉・保護局からの労働規則の許可証を廃止した。(2)「**電力調達**」このランキングは、前回のレポートの第 37 位(83.22 点)から第 13 位(90.99 点)に改善されました。主な改善は、手続き的合理化(5 手順から 4 手段に減少した)結果として手続きに要する時間は 37 日から 32 日に減少した。(3)「**資金調達**」このランキングは、前回レポートの第 82 位(50 点)から第 42 位(70 点)に向上しました。主な起因は、担保取引法(2015 年)と破産法(1940 年)を改正した。(4)「**少額投資者保護**」このランキングは 前回のレポートの第 27 位(66.67 点)から今年の第 16 位(73.33 点)に大幅に改善された。主な起因は公会社法と商法と破産法の改正によります。(5)「**税金払い**」前回のレポートの第 109 位(68.68 点)から今回のレポートの第 67 位(76.73 点)に上昇しました。その起因は国税局の財務省は正当な納税者が調査される確率を減らすために、リスクベースの監査システムを導入し、リスクの高い企業のみ監査実務を適用、企業の 税務監査の時間を短縮することができます。または 企業の投資費用の引当金を調整する。(6)「**契約履行**」前回のレポートの第 51 位(64.54 点)から今回レポートの第 34(76.91 点)に改善した。主な起因は訴訟マネジメントの有効性を高めるために電子システムを実装したことによって、判決の提出や審理などに要する期間を短縮することができます。

今年の総合ランキングの大幅な改善にもかかわらず、タイ政府は、順位付け目的ではなく、国内外の民間投資をさらに拡大し、より良い投資競争力のためである。その結果、長期的には高品質な投資と職を作成できます。